



今年2月1日にオープンした勝川エリアの新スポット ライフガーデン勝川

JR勝川駅の南エリアに新しく誕生した複合商業施設「ライフガーデン勝川」。隣接するスーパーマーケット、パローとともにより便利で、住み良い勝川南エリアをテーマにしたライフガーデン勝川の開発、運営、管理に関わるお二方に伺いました。

Welcome



ダイワロイヤル株式会社 不動産事業部 中部・北陸地区 名古屋事務所 山口 万里さん
ダイワロイヤル株式会社 不動産事業部 中部・北陸地区 名古屋事務所 課長 清田 大輔さん

「ダイワロイヤル株式会社」とは「大和ハウスグループ」の一員として、主に大和ハウス工業(株)が建築した商業施設の開発・管理・運営を手がけ、地域社会の活性化に貢献する商業デベロッパー。

昔から勝川に住まう人はもちろん、新たにこの場所に 住まう人も含め、生活が「潤う場所」でありたい。

勝川駅の南口を出て、南に歩くほどなく新地蔵川が見えます。その新地蔵川にかかる橋を渡り、川沿いにさらに歩を進めると、徒歩7分程で新しく誕生した複合商業施設、ライフガーデン勝川に辿りつきます。

昨年10月に先行オープンしたスーパーマーケット・パローに隣接する施設として、2月1日にオープンしたのがライフガーデン勝川です。ライフガーデン勝川部分の土

地の借地権を所有するパローさんからお声がけいただいたのが2016年。そこから約2年越しの建設プロジェクトが始まったんです」と話すのは、当該施設の開発から運営、管理まで担うダイワロイヤル株式会社の名古屋事業所・課長である清田さんです。清田さん自身、高校時代は勝川駅の北にある春日井南高校に通っていたそうで「南エリアは今回の仕事を通じて初めて知ったと言ってもいいくらいで、勝

川に長く住んでいらっしゃる人たちもいれば、ここ数年で新たに建てられた住居の多さもあらためて感じました。ですから、日常的に買い物をする女性をターゲットに、とにかく「便利な施設」を目指して開発を進めました」と話します。同じくライフガーデン勝川プロジェクトの開発において、主に店舗選定や誘致に関わった山口さんは、「メインターゲットである女性やファミリー層にとって、食料品などの日

常の買い物の「ついで」に立ち寄れる便利なお店は何かを軸に選定しました。日用品が買えるドラッグストアや100円ショップ、成長の早いお子様の服が気軽に買い換えられる衣料品店、子ども連れでも通いやすい歯科医院、子どもから大人まで楽しめる音楽教室やホットヨガなど。また、複合商業施設の中では珍しい保育所(春日井市認可保育所)も入っています」と話します。目新しいお店ではなく、あえて、ついで買いや普段使いしやすい店舗や施設に特化したライフガーデン勝川。住む人たちの日常を便利に、生活が潤うことを目指した施設にしたいという思いが込められています。

あえて中規模で、回りやすく、常に「かゆいところ」に手が届く」品揃えと店舗を目指して。

東海地方を中心に243店舗を展開するスーパーマーケット・パロー(2017年12月31日時点)。その中でも、ライフガーデン勝川に隣接する店舗は、「エブリデー・ロープライス(EDLP)」として特売期間を設けず、年間を通じてお客様がいついそいそと、欲しいものが揃い、やりたいことや楽しみたいことが実現できる施設にしていきたいことが大事だという清田さん・山口さん。さらに「ライフガーデン勝川は、国道19号沿いに出店している専門店や飲食店などと同じような店舗は出店していません。規模についても同様です。広すぎず狭すぎず、中規模。だからこそ、お出かけの行き帰りや、ちょっとした買い物の際に立ち寄りやすいといったメリットは、1度利用していただくと感じていただけるはず」と話します。



オープンから約2ヶ月。今後はライフガーデン勝川に来るお客様が楽しめるイベントの企画やお得な情報の発信にも力を入れていくそう。勝川南エリアに住む人たちがよく存在として、また勝川エリアがよ

